

会議の名称	第3回茨木市水道・下水道事業審議会
開催日時	平成30年11月9日(金) (午前・ 午後) 1時00分 開会 (午前・ 午後) 3時05分 閉会
開催場所	福祉文化会館 202号室
議長	仲上 健一
出席者	仲上 健一、岡崎 利美 【以上、学識経験者 2名】 宮内 潔、西川 幸一 【以上、事業関係者 2名】 八木 香織、佐名川 玲子 【以上、利用者団体から推薦された者 2名】 柴田 桂 【以上、公募市民 1名】 【7名】
欠席者	久保田 道孝 【以上、公募市民 1名】
事務局職員	大塚副市長、福岡水道事業管理者職務代理者水道部長 吉備水道部次長、池田水道部副理事兼営業課長、 野口水道部副理事兼浄水課長、松本水道部総務課長、 酒巻水道部工務課長、杉林水道部総務課参事兼企画係長、 池田水道部総務課長代理兼経理係長、前田水道部総務課総務係長、 水道部総務課企画係職員(2名) 鎌谷建設部長、田邊建設部次長兼下水道総務課長、 藤岡建設部下水道施設課長、中田建設部下水道総務課参事、 吉村建設部下水道総務課長代理兼計画係長、 渡邊建設部下水道総務課総務係長、 建設部下水道総務課総務係職員(1名) 【19名】
開催形態	公開
議題(案件)	(1)「水道事業経営戦略」の修正等について (2)「水道事業経営戦略」の今後の取組みについて (3)「水道事業経営戦略」の事後検討について (4)「下水道等事業経営戦略」の修正等について (5)「下水道等事業経営戦略」の後の取組みについて (6)「下水道等事業経営戦略」の事後検討について (7) その他

配布資料

(配布資料)

会議次第

水道事業経営戦略(案)差替え分

下水道等事業経営戦略(案)差替え分

資料－1 水道事業経営戦略(案)修正箇所一覧

資料－2 下水道等事業経営戦略(案)修正箇所一覧

会 議 録

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
(開会) 松本課長	<p>定刻となりましたので、ただいまから、第3回茨木市水道・下水道事業審議会を開催させていただきます。</p> <p>本日の審議会委員の出席状況についてご報告申し上げます。</p> <p>委員総数8名のうち、出席者7名でございます。</p> <p>それではこれより審議をお願いいたします。</p>
仲上会長	<p>ただいま事務局よりご報告がありましたとおり、過半数の委員のご出席をいただいておりますので、茨木市水道・下水道事業審議会規則第6条第2項により、本会議は成立いたしております。</p> <p>なお、本審議会は公開としております。本日、傍聴希望者はおられますか。</p>
松本課長	<p>本日、2名の傍聴者がございます。</p>
仲上会長	<p>それでは、これより案件に入らせていただきます。</p> <p>案件1「「水道事業経営戦略」の修正等について」、事務局より説明を受けたいと思います。よろしく申し上げます。</p>
杉林参事	<p>「水道事業経営戦略」の修正等について、ご説明いたします。</p> <p>資料1をご覧ください。こちらは修正箇所につきまして、まとめたものです。第2回審議会において委員の皆様からいただきましたご意見をもとに修正しております。</p> <p>修正箇所一覧に沿って順次説明いたしますので、本日お配りしております水道事業経営戦略(案)修正版とあわせてご確認をお願いします。修正しました文章につきましては、わかりやすいように赤字で記載しております。</p> <p>(「資料1 水道事業経営戦略(案)修正箇所一覧」について説明)</p>
仲上会長	<p>ただいま事務局から説明がありましたが、ご意見ご質問はありますでしょうか。今の説明を踏まえまして、ご了解いただけましたら確定ということにしたいと思います。よろしいでしょうか。</p>
委員全員	<p>(賛 同)</p>
仲上会長	<p>それでは、ご了解いただいたということで確定させていただきたいと思</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>います。</p> <p>次に、案件2「水道事業経営戦略」の今後の取組みについて、ご説明をお願いします。</p>
杉林参事	<p>(「第5章 今後の取組み 1. 経営基盤強化に向けた取組み(1) 適正な料金水準の検討及び料金負担の公平性の確保～(5) 技術継承を進める組織体制の構築」について説明)</p>
仲上会長	<p>ただいま事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問はありますでしょうか。</p>
宮内副会長	<p>49 ページの水道料金の値下げの話において、将来の給水量の減少等に備えるため値下げしましたというのは、一般の人からしたら逆ではないかと感じるのではないのでしょうか。水道事業ビジョンでは46 ページに企業団の受水費の値下げ等、茨木市の水道料金の値下げに至った理由が書いてあるので、経営戦略においても、「将来の給水量の減少等に備えるため」というだけではなく、言葉を足して書いておいたらどうでしょう。</p> <p>また、料金体系の見直しのおかげで給水量が減少しても給水収益が減少せず、現状では上手くいっているが、人口減少に伴い水需要はこの先さらに下がっていくので、将来の状況は厳しいという言葉はどこかに書いておいてはどうでしょう。実行計画の本文4行目のところで、「なお」の部分で、「しかしながら、今後も給水量の減少が予測されることから、」というような表現に変えてはいかががでしょうか。</p> <p>また、収納率の向上については、現状でほぼ100%を達成できているということを書いておいてはいかががですか。例えば直近の5年間平均でこのくらいを達成しているけれども、従来の対策についても強化していきます、というような表現にしてはいかががでしょうか。</p>
吉備次長	<p>修正を検討します。</p>
岡崎委員	<p>野々宮配水場は売却をするのですか。</p>
吉備次長	<p>できれば売却したいと考えています。この土地の利活用は現時点では予定していません。今は配水場として使っており、タンクやポンプを撤去するには相当な費用が必要になるので、まず売却先を見つけ、撤去費用をかけるか、または現状のまま引き取っていただくか等、できるだけ水道会計に影響が出ないように、回収する費用を多くできるように処分したいと考え</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	ています。
岡崎委員	文章だけ読むと、土地利用を考えるけれども売るのだという表現になっているので、どちらがメインなのかな、と感じます。
福岡部長	言葉が足りない部分がありますので、補足を検討いたします。
宮内副会長	水道ビジョンでは、廃止した水道施設用地については、将来の土地利用を考慮した上で、収益拡大につながる活用方法を検討していく、となっています。売ってしまうと一時的な収入となるだけですが、ビジョンの方は毎年収入があるような印象を受けます。 また、売るとしても、周辺地域への影響に配慮して、将来建てるものに制限をかけた上で売却した方がいいと思います。
岡崎委員	「売却も選択肢に入れる」くらいの記載にし、それも踏まえて一番良い方法を検討するという表現にしてはいかがですか。
福岡部長	ここは具体的に書いているので、なぜ将来の売却の対象になったかという経緯について言葉を足した方がいいのかなと感じています。
仲上会長	具体的な施設名は出しても良いのですか。
福岡部長	他にも売却を検討する施設はありますが、山間部に位置する施設については土地活用が難しいが、ここは幹線道路にも近く比較的売却の対象にできるという意味であげております。
仲上会長	面積はどのくらいあるのですか。
吉備次長	約 2,000 m ² です。
仲上会長	確定していない事項なので、多くの構想の中の一つとして選択肢にあるという表現にとどめた方が良くはないですか。
吉備次長	遊休施設については、「将来の土地利用を考慮した上で売却等を検討してまいります。その中にはこのような施設があります。」というような表現に改めます。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
宮内副会長	<p>50 ページの適正な財源の確保の検討については、かなりあっさり書いているという印象を受けます。54 ページに記載している目標には、水道事業ビジョンにも書かれている目標と書かれていない目標とがあり、資金残高と経常収支比率は、経営戦略の中でのみ目標が出てきます。これらの目標については、経営戦略の中で、10 年間のシミュレーションにおいて目標が達成されているということ、きちり書いておく必要があるのではと思います。50 ページの実行計画では抜けている項目があるので、抜けている項目については、たとえば 44 ページの収益的収支の表の下に経常収支が赤字か黒字かというようなことを下にコメントを書くとか、書きにくいものについては別にデータを載せるなどしてはどうでしょうか。なお、厚生労働省の立入検査においても、今年度は経営の問題に着目し、料金回収率や経常収支の状況等から適切な料金水準かどうかということが、検査対象とされるようになっていきます。</p>
岡崎委員	<p>水道事業ビジョンでは、課内研修や熟練職員の技術の継承について述べているので、経営戦略でも書いておいた方がいいと思います。</p>
仲上会長	<p>ここまではよろしいでしょうか。それでは、次の説明をお願いします。</p>
杉林参事	<p>(「第 5 章 今後の取組み 1. 経営基盤強化に向けた取組み (6) 広域連携等に係る取組み」について説明)</p>
仲上会長	<p>何かご意見はございませんか。</p>
宮内副会長	<p>上下水道組織の一元化と府域水道事業の広域化についてですが、経営戦略の計画期間の 10 年間で、茨木市として広域化への参加が行われるようなことはまず考えにくいので、「広域連携については、計画期間内で進めることを検討します。また府域水道の広域化の動きについても注視していきます。」というような書き方にしてはいかがでしょうか。その上で、「一元化については、一元化における課題の検証を行うとともに、市民サービス向上を図るため、下水道との連携強化を図っていきます。」くらいの書きの方が良いのではないのでしょうか。</p>
仲上会長	<p>上下水道一元化と府域水道事業の広域化については整理して分けて書いた方が良いということですね。</p> <p>それでは、案件 3 「水道事業経営戦略」の事後検討について、説明をお願いします。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
杉林参事	(「第6章 経営戦略の事後検討・更新等 1. 計画の推進と点検・進捗管理の方法、2. 経営指標」について説明)
仲上会長	ご意見、ご質問はございませんか。
宮内副会長	53 ページ本文3行目について、「水道事業ビジョンの見直し年度に合わせて、経営戦略についても同じ時期に見直しを行う」と書いています。図では水道事業ビジョンでは中間見直しがありますが、更新を行うのは10年後となっています。経営戦略では、中間見直しの時にも更新を行う、というイメージですか。
福岡部長	次の5年についても具体的に数字を示して、更新を行う予定です。
宮内副会長	図を見るとそうなっているので、本文も図に合わせて修正してはいかがでしょうか。
仲上会長	それでは、今のご意見をもとに、修正を検討いただければと思います。 当初の予定どおり12月にパブリックコメントとなりますので、修正につきましては、わたくし会長に一任いただくということによろしいでしょうか。
委員全員	(賛 同)
仲上会長	ありがとうございます。それでは、一任ということで進めてまいります。 ここで10分間の休憩を挟ませていただきます。14時05分より、審議を再開しますので、よろしく願いいたします。 (再開)
仲上会長	定刻となりましたので、審議を再開いたします。 案件4「「下水道等事業経営戦略」の修正等について」、事務局より説明を受けたいと思います。よろしく願いします。
中田参事	(下水道等事業経営戦略(案)の修正箇所について説明)
仲上会長	事務局から説明がありましたが、ご意見・ご質問はありますでしょうか。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員全員	(意見なし)
仲上会長	それでは、了解とさせていただきます。
仲上会長	次に、案件5「「下水道等事業経営戦略」の今後の取組みについて」、ご説明をお願いします。
中田参事	(第6章 今後の取組みについて説明)
仲上会長	ただ今説明をいただきましたが、ご意見・ご質問はございませんか。
仲上会長	39 ページの 2 行目で、「一般会計からの支援を軽減し、……」となっていますが、行政的には「支援」を用いているのでしょうか。
大塚副市長	「支援」は、基準外繰入金を意識した文言ですが、検討します。
仲上会長	実際には、一般会計から繰り入れられているのでしょうか。
大塚副市長	そのとおりです。本来は自立した経営をしなければならないところを、一般会計から不足分を補ってもらっている、という意味で支援としているのですが、別の表現を検討します。
西川委員	「支援」を「繰り入れ」とするのは、いかがですか。
仲上会長	その方が良い感じがしますので、検討してください。
柴田委員	39 ページの(4)で、「市民サービスの向上を図るため、……」とありますが、もう少し具体的にサービスの内容を書いていたきたいです。
仲上会長	意味は分かるけれども、中身が分からないという感じですので、具体的な内容などがあれば、書いてもらえれば良いと思います。
田邊次長	市民の皆さんや業者さんが来られる窓口が、水道と下水道で別々ですので、例えば窓口を一元化すれば、職員同士の連携も取りやすくなりますし、災害時においても、現在は下水道と水道でそれぞれが対応していますが、組織が強化されることで、市民の皆さんの要望にも手厚くお応えできるよ

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
西川委員	<p>うになるなど、市民サービスの向上につながると考えています。</p> <p>茨木市としては一元化する方向で考えている、ということですが、一元化は、下水道事業からすると、人員削減できる可能性があり、コスト的には良いと思います。</p> <p>全国的には、人口減少が進んできて、上下水道事業を一元化している団体も多くなっていますが、人口減少が特に著しい団体では、災害時における下水道の被害状況の調査や下水道事業を運営していくための職員不足が懸念され、人員削減が必ずしもサービス向上につながらない場合もあると思います。そのあたりはいかがでしょうか。</p>
田邊次長	<p>一元化に対する課題も色々あると認識しています。一元化した時のメリットと、水道と下水道が別々の組織を継続した時のメリットを比べながら、上下水道事業の一元化をする・しないを含めた検討や、上下水道以外の部局も含めた、市全体の連携強化を図るための検討など、様々な観点から検討を行いたい、という趣旨で書かせていただいています。</p>
宮内副会長	<p>“本市水道事業との連携強化”は、水道の経営戦略でも“下水道事業との連携強化”という一言だけの表現となっていますので、今言われたように、少し具体性を持たせた表現にすれば、取り組みの内容が伝わりやすいと思います。</p>
田邊次長	<p>水道とも相談し、対応します。</p>
西川委員	<p>39 ページの「(3) 新たな収入源の検討」ですが、具体的には何かあるのでしょうか。</p>
田邊次長	<p>例えばポンプ場の建屋の壁を賃貸して、広告収入を得るといったような仕組みを考えていきたいと思っています。</p>
仲上会長	<p>アイデアは今後下水道事業の中で検討していく必要があると思います。例えば、京都市では下水道の汚泥でレンガを作ったり、道路の材料に利用したりしています。また、マンホールの蓋のデザインのバッチを作っている自治体も多くあります。</p>
田邊次長	<p>マンホールの蓋に企業の宣伝を入れて、収入を得ているところもあります。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
仲上会長	例えば、下水道施設の見学会を開催して収入を得ることも考えられると思います。
田邊次長	何かで収入を得たり、支出が抑えられるような取組を進めていきたいと考えています。
仲上会長	経営戦略に記載する必要はないですが、新たな収入源の確保は、上水道も下水道も今後重要になりますので、課内で議論されたり、市民にアイデアを募集したり、他の市町村でどういうことをやっているかなどの情報収集をされても良いのではないのでしょうか。
西川委員	例えば、汚水は年間を通じてほぼ一定の温度なので、熱利用することができます。下水道管の中に熱回収するようなコイルを設置して、下水熱を冷暖房として使うような技術が出始めています。
仲上会長	温水プールに利用する所もあります。また、下水の処理水を公園などで修景利用している事例もあります。
田邊次長	本市の場合も、大阪府の処理水をせせらぎとして、公園の中に流している事例があります。
仲上会長	次に、案件6「「下水道等事業経営戦略」の事後検討について」、説明をお願いします。
中田参事	(第7章 経営戦略の事後検討・更新等について説明)
仲上会長	ただ今説明をいただきましたが、ご意見・ご質問はございませんか。
仲上会長	40ページの図7-1で、「市民の皆さま」となっていますが、水道の経営戦略では53ページで「お客さま」となっています。合わせる必要はないのでしょうか。
田邊次長	水道の場合は、水を売り、買っただいただいています。下水道の場合、売買はありませんので、「お客さま」とは言いません。
福岡部長	水道は契約関係が成立していますので、「お客さま」としてはいます。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
宮内副会長	<p>料金は両方合わせて徴収しているので、お客さまというような感覚もあるのではないのでしょうか。</p>
福岡部長	<p>水道ビジョンでご審議いただいた時にも、「お客さま」という表現についてご質問があったと思いますが、基本的に、国においても水道事業はお客さまサービスという言葉を使っていますので、それに合わせて水道では使っています。</p>
仲上会長	<p>近年「お客さま」という言い方も古くなってきているように思います。将来の水道経営は、市民と自治体が共同経営者のような捉え方が重要という意見が最近出てきています。</p> <p>双方でご検討いただくということにしますので、よろしくお願いします。</p>
西川委員	<p>41 ページの「表 7-1 投資目標」ですが、6 ページに全体の計画図はありますが、雨水幹線や重要な幹線が分かりにくいいため、投資目標に対して、実際にどの地域で対策を進めていくのかが分かるように表現できないのでしょうか。</p>
田邊次長	<p>重要な幹線は、10 ページの注釈で用語説明しています。ただ、重要な幹線の位置については、市域の広域図では小さすぎて示しづらい状況です。</p>
宮内副会長	<p>水道の場合は、重要な管路として、幹線に加えて広域病院や災害時の避難所への給水を優先的に確保できるように更新を進めましょう、という考えがあります。</p>
西川委員	<p>地震でマンホールが浮上して道路が使いなくなると困るので、救急車などの緊急車両が災害時でも走行できるように、重要な道路の下の幹線を重要な管路として位置付けて、その対策を第一に進めていきます。重要な管路の対策がまだできていないのであれば、当然早く進めてもらわなければいけません。</p> <p>雨水整備率が 38.5%で、浸水する地域が全部なくなれば 100%になるのですが、整備が終わっている 38.5%がどこで、さらに、未整備地域の整備予定について、この数字だけを見ても分かりにくいので、図面があれば分かりやすいのではないのでしょうか。</p>
宮内副会長	<p>水道は事業ビジョンがありますが、下水道も経営戦略の前段となる整備</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	計画のようなものはないのでしょうか。
田邊次長	下水道事業には、水道ビジョンに相当するものはありません。そのため、以前ご説明させていただきましたが、経営戦略に第4章を設けています。
西川委員	第5章の25ページで、浸水対策であれば「茨木市雨水基本構想」、地震対策であれば「総合地震対策計画(2期)」とありますので、これらの計画書の図面を貼り付けることはできないのでしょうか。
仲上会長	図面で具体的に示すことにより、未整備地域の住民からは、自分の地域はずっと解消されないのか、という不満がでてくるかもしれません。 浸水対策は、そう簡単な問題ではないですし、何度も被害に遭うところほどなかなか整備ができない。下水道だけで浸水の処理・対応ができないことが多いと感じています。
田邊次長	本市でも、下水道に位置付けられていない市内一円に張り巡らされた水路も使いながら浸水対策をしています。
仲上会長	浸水対策を終えた地域は38.5%ですが、10年経っても40%ぐらいに留まるので、図面を入れたとしても、浸水対策があまり進まないという印象を与えかねないですね。
西川委員	10年後の指標がこうなりました、と数字だけ示しても、本当に進んだのか進んでいないのかが非常に分かりにくいと思います。
仲上会長	雨水整備は市民の方も非常に興味があると思います。
西川委員	図面の追加は検討していただければと思います。 41ページの「表7-1 投資目標」で、地震対策と老朽化対策の違いは何でしょうか。
田邊次長	25ページの投資計画の概要で、それぞれの違いを挙げています。
西川委員	幹線の地震対策は、既設管を取り替えるのではなくて、管の内部を強固にするような工作で行うのでしょうか。
田邊次長	そうです。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
西川委員	老朽化対策の方法は、どのようなものですか。地震対策と同じやり方ですか。
田邊次長	老朽化対策は、内面が痛んだ管に膜を張るなどして、きれいに直すというものです。
西川委員	では、地震対策を行えば、老朽化対策にもなるということですか。
田邊次長	そのとおりです。
西川委員	老朽化対策で行う工事は、国の交付金をできるだけ使わずに、維持管理の中で、使用料収入で行なってください、という考えが出てきています。一方で、地震対策は当然行わなければならないものですから、交付金の対象になるとされています。そのため、老朽化対策を行う幹線と地震対策を行う幹線を分ける必要があると思います。
田邊次長	老朽化対策は、表面が傷んで下水の流れに支障が生じているような管や、腐朽するような管への対策を対象としています。地震対策は、下水道施設の強度を上げるために行いますので、目的が全く違いますし工法も違いますので、必然的に2つの対策が分かれることとなります。
西川委員	前回の審議会でも質問させてもらいましたが、緊急的に老朽化対策を行わなければならない管渠の率は示していただいています、実際にどの場所なのかは分かりませんが、という答えだったと思いますが、今の段階では分からないのですね。
田邊次長	現段階では、国が示した健全率予測式を用いて算出した数値をお示ししています。ただし、ストックマネジメント計画を並行して策定しており、その中では管渠を目視調査した上で、対策が必要な場所を特定していきます。ですから、具体的な対策が必要な場所は、平成32年に策定予定のストックマネジメント計画で明らかにします。
仲上会長	それでは、茨木市下水道等事業経営戦略について、12月にパブリックコメントを実施しますので、修正につきましては、会長である私に一任いただくということで、よろしいでしょうか。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員全員	(賛 同)
仲上会長	ありがとうございます。それでは、一任ということで進めてまいります。これで予定の議事は終了しましたが、他にご意見ございませんでしょうか。
委員全員	(意見なし)
仲上会長	それでは、今後の予定について事務局より説明を受けたいと思います。
松本課長	(今後の日程調整)
	以上